

成城大学に対する相互評価結果

I 総評

成城大学は、「所求第一義」を建学の精神として、人それぞれの備えている内在的な「天分」を伸ばし、個性の花を開かせることを教育の理想としている。個性の暢達を主眼とした、「独立独行」の人材育成を掲げており、そのもとに、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー（以下 AP と略す））を適切に設定している。

ただし、大学全体の AP と各学部・研究科の AP との関連性や、各学部・研究科の AP の評価・判定の基準・方法等はもう少し明確化する余地があり、それにより貴学の個性・特徴がより際立つと考える。

II 概評

① 大学全体のアドミッション・ポリシー（以下 AP と略す）と学部・研究科の AP は関連しているか。

経済学部及び文芸学部においては、大学全体の AP と関連している内容が読み取れる。

他方、社会イノベーション学部において、大学全体の【AP2】で示されている「表現力」に関する内容や、【AP3】で示されている「多様性・協働性」に関する内容が読み取りにくい内容となっているため、それらの内容を加えることで、関連性がより深まると考える。研究科全体の AP と各研究科の AP は概ね関連している。

② 入学希望者にとって分かりやすい内容になっているか。

「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」の3つの観点から求める学生像について、要点を絞って簡潔に示されており、入学希望者にとって伝わりやすい内容になっている。

他方、学部・研究科によって、文章構成や項番の表し方等が異なるため、具体的且つ分かりやすく明示されている経済学部に合わせて形式を統一することで、より伝わりやすい内容になると考える。例えば、文芸学部や社会イノベーション学部で示されている「基礎学力」という内容に、経済学部の【AP1】の「高校卒業レベルの～能力を具えている人材」と示されているような具体的な内容を追記することで、入学希望者にとってより分かりやすい内容になると考える。

経済学部においては、【AP2】の「卒業論文を執筆できる能力」が具体的にどのような能力を指すのかを明示されると、より分かりやすい内容になると考える。

社会イノベーション学部においては、「イノベーション」が何を指しているか読み取りにくいいため、「正解のない問題に挑戦し、今までにない解決策を導く力を養う」ことができる、日本で初めてその名称にイノベーションをつけられた成城大学の個性や特徴を明示することで、より伝わりやすい内容になると考える。

③ APは受け入れる学生に求める人物像、学習成果(学力の3要素)について具体的に明示されているか。

大学全体のAPには、受け入れる学生に求める人物像、学習成果(学力の3要素)について具体的に明示されている。

他方、学習成果(学力の3要素)について、具体的に明示されていない学部が見受けられる。

①で述べた、大学全体のAPと各学部の連関を深めるとともに、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた学修目標の幅広さと水準を十分踏まえた内容の策定が望まれる。

④ APは入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法が示されているか。

大学全体のAPには、求める学生像が具体的に明示されており、入試区分との対応関係についても表形式で整理がなされている。

他方、②で述べた、入学希望者にとって分かりやすいものになっているかという観点で工夫を加えることにより、一層分かりやすい表記になると考える。

以上